

## 10 「施策の実施計画の策定・実施」についての検討素案

整備の具体的な内容や時期等については、平成 17 年 3 月に策定した整備基本計画を見直し、その計画内容に基づき遂行するものとする。

今後行うべき主な施策について、短期的に実施すべきものと、中・長期的に実施すべきものに分け以下に示す。

### 1 短期的に実施すべき施策

- 仙台城跡全体を対象とした調査・研究を継続して実施し、調査成果は様々な手法により広く公開する。
- 平成 17 年 3 月に策定した整備基本計画の見直しを行い、計画に基づく整備を行う。
- 遺構保存、史跡見学環境の維持、眺望の維持などの点から、植生環境の適切な管理が課題であることから、現況の植生調査に基づき植生管理の方針を検討する。
- 石垣の維持管理のために、石垣測量及び石垣カルテの作成を行う。
- 市道の車両通行と遺構保存の両立を図るための暫定的な対策について検討する。
- ボランティアガイド活動をはじめとするさまざまな市民活動との連携を継続し、その課題については対応を検討する。

### 2 中・長期的に実施すべき施策

- 調査・研究については継続実施し、調査成果をさまざまな手法により広く公開する。特に、文献・絵図等の歴史資料に関する調査・研究については、博物館や東北大学等関連機関とも連携し充実を図る。
- 保存と活用のための整備について、整備基本計画に基づき実施する。
- 植生管理の方針に基づき、樹木の枝払いや間伐等を行い、遺構の保護や史跡の良好な見学環境を維持する。
- 史跡地内を通る道路について、中・長期的にそのあり方を検討する。

### 3 大手門等の復元整備について

- 大手門及び巽門については、復元の根拠となる資料が存在し、平成 17 年 3 月に策定した整備基本計画において復元整備することとしている。本計画においてもこの方針を継承し、活用のために復元整備する対象とする。
- 大手門については市民から復元の要望があるが、復元する場合、その場所が市道の上となり、市道の機能代替が必要となることや、隣接する脇櫓をあわせて再建する必要性など、解決すべき課題がある。したがって、整備のあり方や時期について、課題をめぐる状況等を踏まえながら、継続して検討する必要がある。
- 巽門についても、整備のあり方や時期について、今後検討していく。
- 復元整備に至るまでの間は、大手門等に関わる可能な範囲での調査を実施するとともに、調査成果の公開や活用を進め、大手門等の価値について、市民や来訪者に分かりやすく伝えるよう努める。

短期的施策	中・長期的施策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査・研究の継続的な実施</li> <li>・ 調査成果等の公開</li> <li>・ 整備基本計画の見直し</li> <li>・ 石垣測量の実施と石垣カルテの作成</li> <li>・ 植生管理の方針の検討</li> <li>・ 車両通行と遺構保存対策（暫定）</li> <li>・ 市民活動との連携策を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査・研究の継続的な実施</li> <li>・ 調査成果等の公開</li> <li>・ 植生管理の方針に基づく維持管理の実施</li> <li>・ 整備基本計画に基づく整備の実施</li> <li>・ 遺構保存と活用の点からの、史跡地内の道路のあり方を検討</li> </ul>